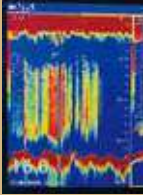


★月イチで同船に通っている関さんが7枚釣りダントツ



▲筆者も3枚キャッチ



▲魚探にイワシの反応がビッシリ



▼関さんはまめに底ダチを取り直し底近くを狙っていた

▲1キロ前後がアベレージ

# 太東沖一帯にイワシ回遊 大ピラメの期待高まる好期到来

外房太東港出船 撮影●椎名義徳



◀1枚目を釣り上げまずは一安心  
▶ヒラメ初挑戦の中学生が3枚釣り上げ大健闘  
▼仕掛けは標準オモリ80号、ライトは50〜80号を使用



▼勤栄丸ではおかみさんの愛情たっぷりの手作り弁当が下船後にいただける



▼当日のイワシエサは15センチほど



▲若船長が釣れたヒラメを血抜きから神経絞めまでしてくれる



外房エリアのヒラメが調子を上げて  
いる。太東港の勤栄丸で取材した1月  
下旬は真沖の水深10〜20メートル付近  
を流し、1.8キロを筆頭に1キロ前後を  
平均2〜3枚、トップ7枚と好成績だ  
った。  
渡辺船長によれば、太東沖一帯で連  
日イワシなどの反応が見られるとのこ  
とで、今後はベイトを追って回って  
くる大ヒラメの期待が高まる。たっぷり  
イワシを食って背の盛り上がったヒラ  
メは引きも食味も抜群。これからさら  
に面白くなること間違いなし。  
(詳細は52ページ参照)



▲背が盛り上がったヒラメは引きが強い



◎当日は港から航程30分ほどの太東沖の水深10〜20メートルを横流し狙った



◎外房太東港・勤栄丸 渡辺 秀明船長と真澄船長(左)